

みんなが“生きいき”まちを盛り上げる

第37回生きいき“ひの”ふれあいまつり

伝統あるものや人との触れ合い、町民みんなが元気になって将来のまちづくりにつなげようと、10月25日と26日の2日間、役場前駐車場などを会場に、第37回生きいき“ひの”ふれあいまつり（同実行委員会主催）が開かれました。

2日間を通して、農産物、加工品の販売やフリーマーケットなどの即売コーナー、文化団体などの作品展示が行われたほか、26日には、芸能発表と抽選会があり、多くの来場者でにぎわいました。

今年のオープニングセレモニーは、秋に日野郡で行われる豊富なイベントの一つに取りまとめとして広く情報発信を行う、「日野軍★秋の陣」の出陣式が行われました。景山町長をはじめとした出席者が武士の格好をして来場者と一緒に勝どきをあげ、会場を沸かせました。



▲会場全体であげた勝どきは、オープニングを大きく盛り上げました



▲おいしそうなアユが食欲をそそる



▲笑顔で触れ合う出店者



▼スイーツデコは女の子に大人気！



▼昨年に引き続き、来場者の目を引き付けたミニ庭園



▼ミュージカル出演者による歌と踊りで会場を魅了



▲県大会で金賞を受賞した日野中学校吹奏楽部は圧巻の演奏を披露



▼ミュージカル出演者による歌と踊りで会場を魅了



▼オシドリ仮面参上！（演劇）



日野町さつき・盆栽研究会 ミニ庭園
晩秋の日野の郷





お茶とのセットでホッとひと息ついてみては？



開店を祝う景山町長ら関係者と緒形さん（左）

根雨のまちなかに、みんなが気軽に集える場を。休憩所を兼ねた『お茶屋おがた』がオープン

根雨地区を訪れる観光客や町内の人々が休憩できる場所をつくりたいと、10月10日、『お茶屋おがた』がオープンしました。

これは、根雨のまち歩きやおしどり観察、宝仏山登山といった根雨を訪れる観光客が増加傾向にある中、町商工会（勝瀬節雄会長）が、店舗の改装を考えていた、創業80年を超える老舗『緒形商店』に呼びかけて実現したものです。

この日は、開店を祝して、勝瀬会長のほか、景山町長や澤田雅広日野振興センター所長ら関係者約20人が参加。勝瀬会長が「かねてより、休憩場所が無いことが懸案だった。これから大いに発展していけたら」と話すと、景山町長も「黒坂のおしゃべりカフェが来場者5000人を突破した中、お茶屋おがたにも期待したい」と述べました。

また、開店に合わせて株式会社まちづくり日野（窪田憲三代表取締役）が商品開発したお土産品『たたらせんべい』もお披露目されました。

関係者がお茶を片手に試食する中、店主の緒形尚子さん（根雨）は「観光客だけでなく、町内の人にも気軽に寄ってもらえる場所になりたい」と抱負を語っていました。



普段は味わえない抹茶を楽しむ来場者ら



青木さん（左から2人目）を囲んで記念撮影

これからも “楽しく、気楽に” おしゃべりカフェ5000人突破&記念イベント開催

6月に1周年を迎えた、おしゃべりカフェが、9月11日、来場者数が5000人を突破しました。5000人目となったのは、青木幸子さん（黒坂）。同カフェ代表の西古尚史さん（黒坂）から花束と記念品を受け取ると、青木さんは「まさか自分が。うれしい」と笑顔で話しました。

また、来場5000人突破を記念として、10月19日には、記念イベントが開かれました。当日は、コーヒーと先着50人に抹茶が無料で振る舞われました。

西古さんは「当初は1日10人くらいのお客さんを見込んでいたが、口コミで広がって今は1日平均25人の来場があり、とてもうれしい」と喜び、「全くのボランティアだが、お客さんとおしゃべりを通して自分も元気をもらっている。これからも、まちの人たちに、おいしいコーヒーを飲みながら楽しくおしゃべりしてもらいたい」と話しました。

「楽しく気楽に仕事できるのが長続きしている秘訣」と西古さん。これからは、第一線を退いた人など、スタッフを募集したいとのこと。興味のある人は、おしゃべりがてら訪れてみてはいかがでしょうか。